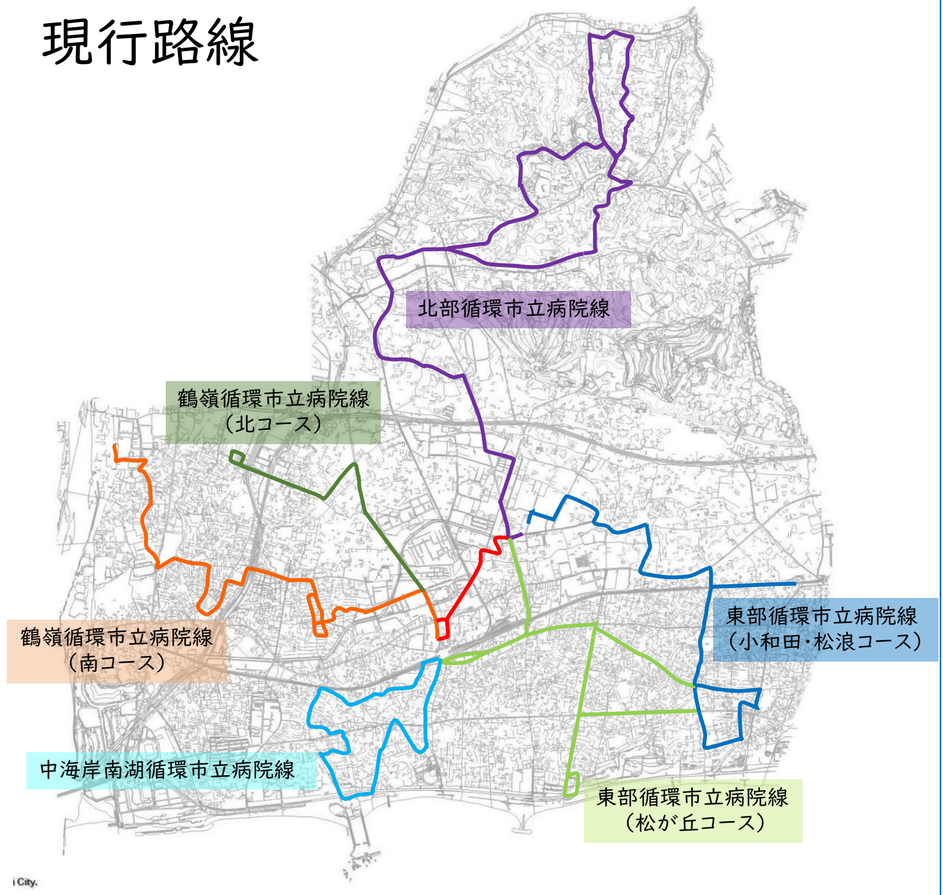
コミュニティバスえぼし号の役割とは??



鉄道や路線バスでは十分に対応できない交通不便地域の移動を支える交通手段　です。

- 現在、茅ヶ崎市内では4路線6ルート運行しています。
- 今回は、乗車人員数に課題がある、鶴嶺・東部・北部循環市立病院線の見直しをします。（南湖循環市立病院線は見直し対象外）
- 運転士不足が深刻化していく中で、将来においてもコミュニティバスを維持するため、見直しは、運転士やバスを増やさないことを前提としています。

現行路線

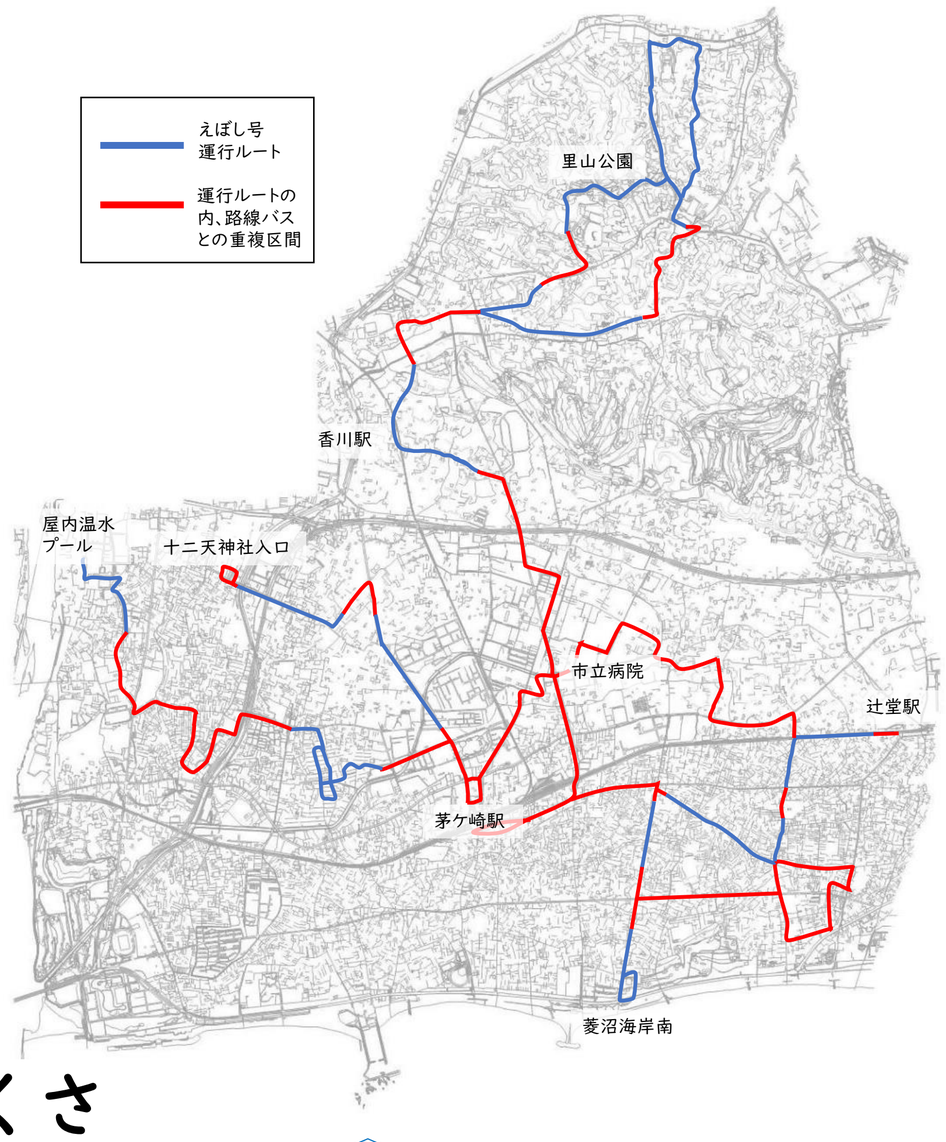


課題①　路線バスとの役割分担

コミュニティバスえぼし号の運行ルートは
路線バスと**重複している区間が多い**

※今回の見直しでは、コミュニティバスのバス停が、路線バスの停留所の半径250m以内にあるバス停を「重複」としています。

重複距離の割合	
鶴嶺循環市立病院線（北コース）	53.1%
（南コース）	70.7%
東部循環市立病院線（松が丘コース）	75.3%
（小和田・松浪コース）	58.8%
北部循環市立病院線	45.5%



交通不便地域を補完する
本来の役割を
十分に発揮できていない!!

課題②　運行頻度の低さによる利用のしにくさ

運行本数が少ない
鉄道駅までの移動が不満
市民のニーズ

もっと便数が多ければ
利用機会が増える　のに！！

※「令和４年度日常の移動手段に関するアンケート調査」
「令和７年度茅ヶ崎市自動運転実証実験利用者アンケート」より

見直し対応策 → **運行見直し** → **再評価**

- 路線バスとの
  重複区間の見直し
  （重複する一部区間の運行を廃止します。廃止する区間の移動については、既存の公共交通機関の利用を想定しています。）
- 運行頻度を増加をさせるため
  1便あたりの**運行距離の短縮**

令和9年秋頃より
新ルートでの
運行開始予定

令和11年度に
新ルートの
運行実績を評価
必要に応じて
再度見直し

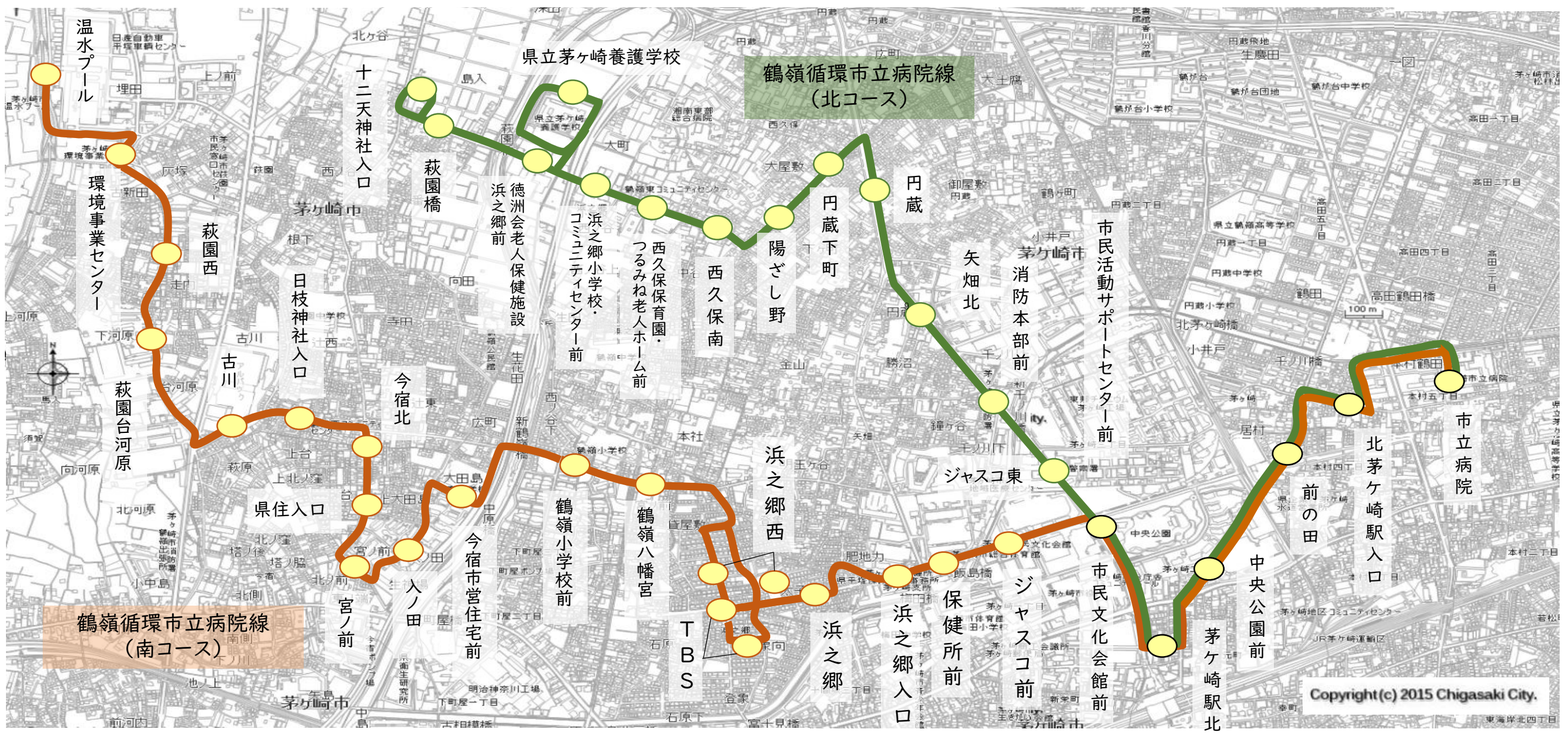
その他課題：運賃見直しの検討

持続可能なコミュニティバスえぼし号へ



鶴嶺循環市立病院線

現行ルート



【走行距離】

北コース	10.5 km
南コース	15.0 km

【運行頻度】

北コース	平日8便	休日7便
南コース	平日6便	休日5便

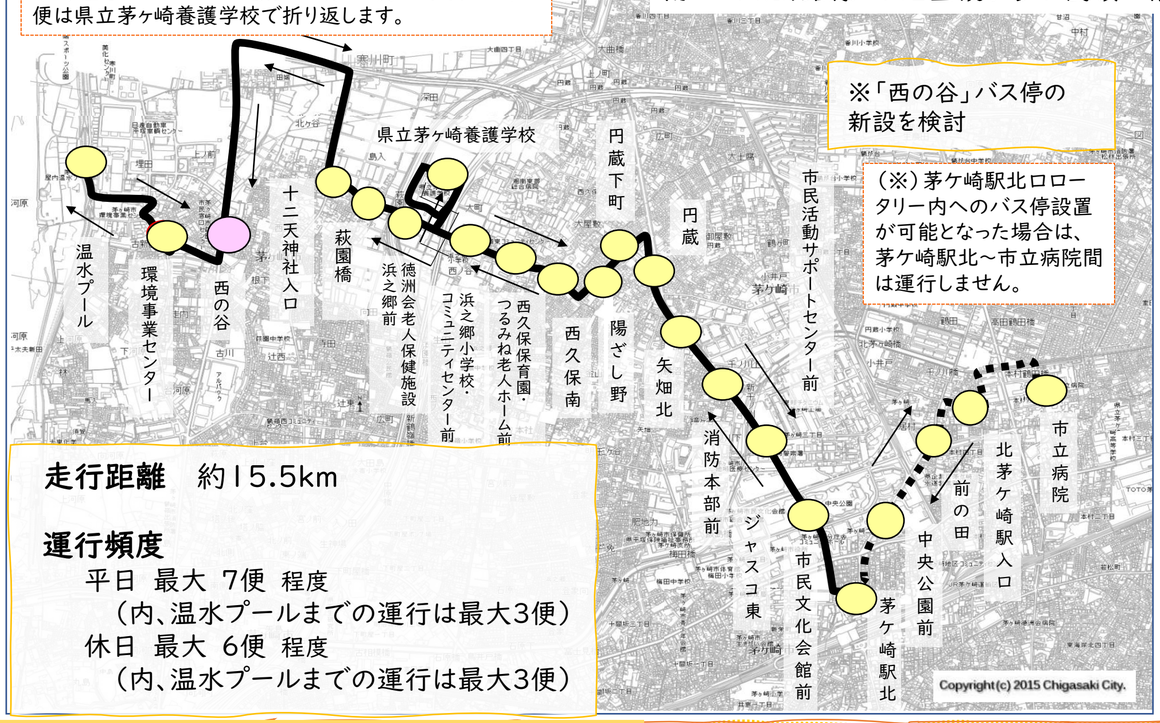
新ルート案

現行の北コース及び南コースを、次のパターンで運行を検討します。

見直しパターン1

北コースは、円蔵・西久保エリアから茅ケ崎駅へのアクセス性を向上させる案です。なお、南コースの温水プール及び環境事業センターは比較的利用者が多く、かつ路線バスと重複していないため、北コースを延伸することで、アクセスを維持します。
南コースは、路線バスと重複が多い鶴嶺八幡宮以西の運行ルートを廃止し、TBS方面から茅ケ崎駅へのアクセスを向上する案です。

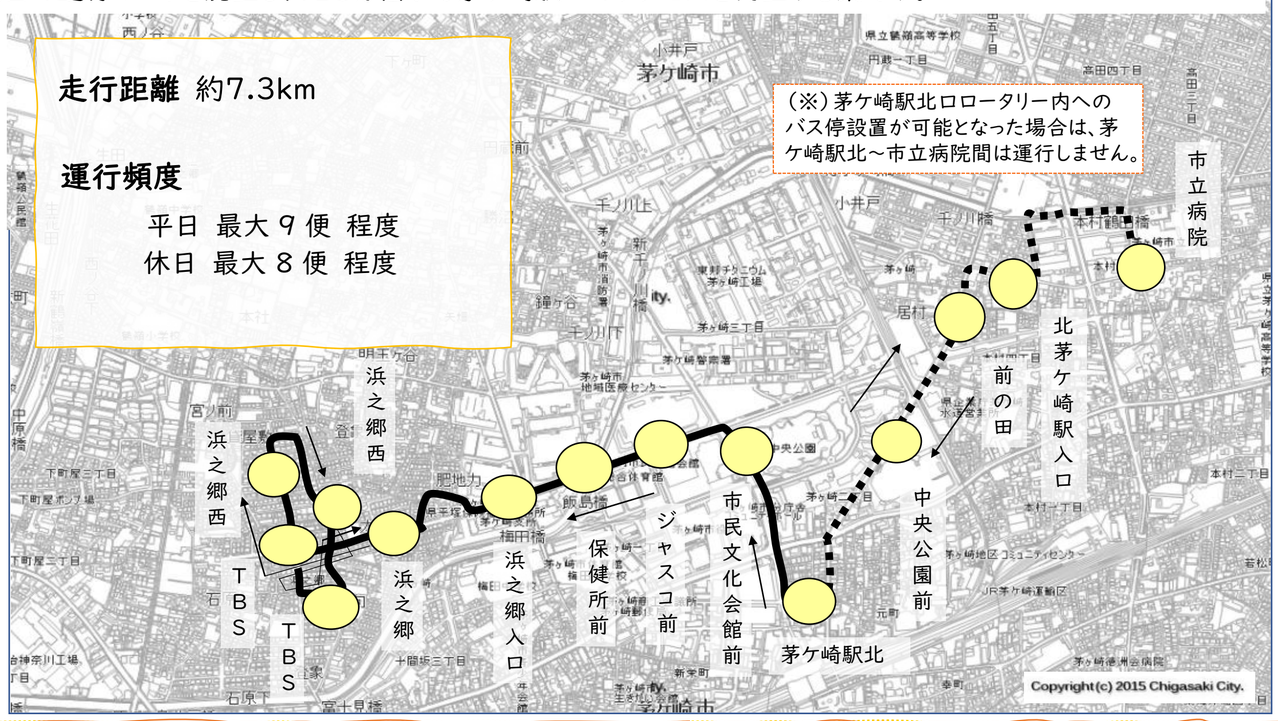
（※）温水プールまでの運行は2便に1便とし、それ以外の便は県立茅ヶ崎養護学校で折り返します。



走行距離　約15.5km

運行頻度

平日　最大 7便 程度
（内、温水プールまでの運行は最大3便）
休日　最大 6便 程度
（内、温水プールまでの運行は最大3便）



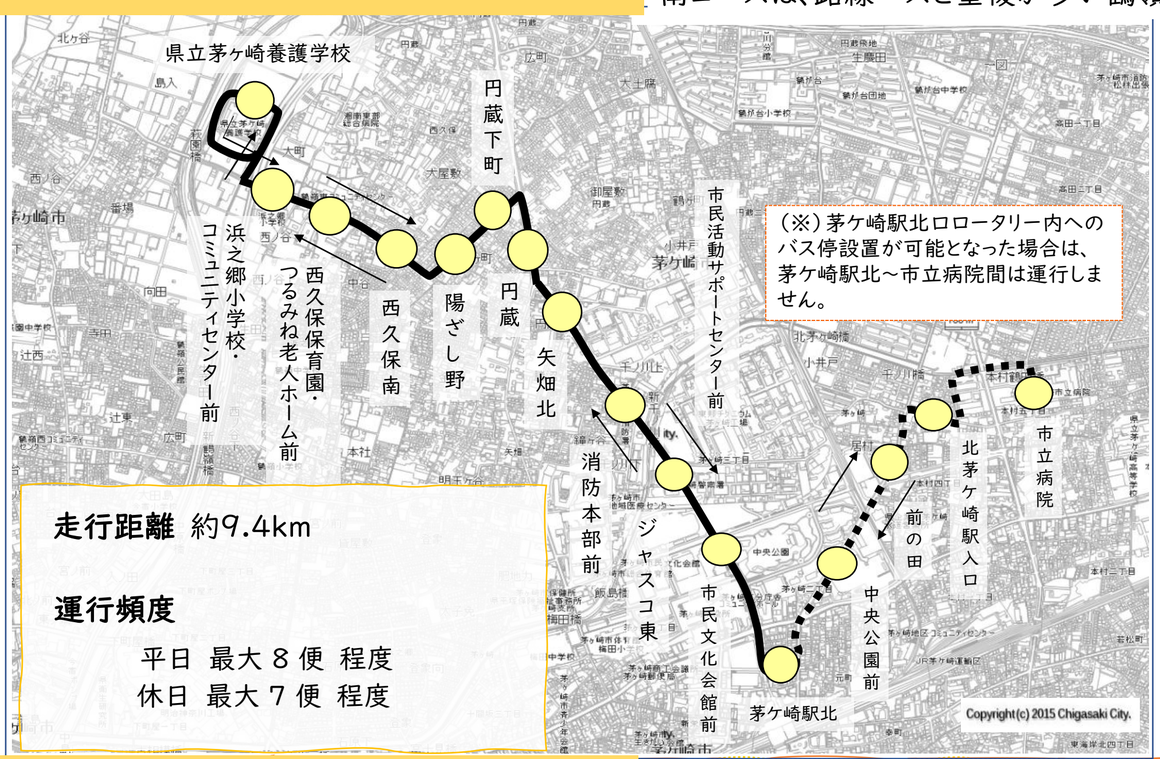
走行距離　約7.3km

運行頻度

平日　最大９便 程度
休日　最大８便 程度

見直しパターン2

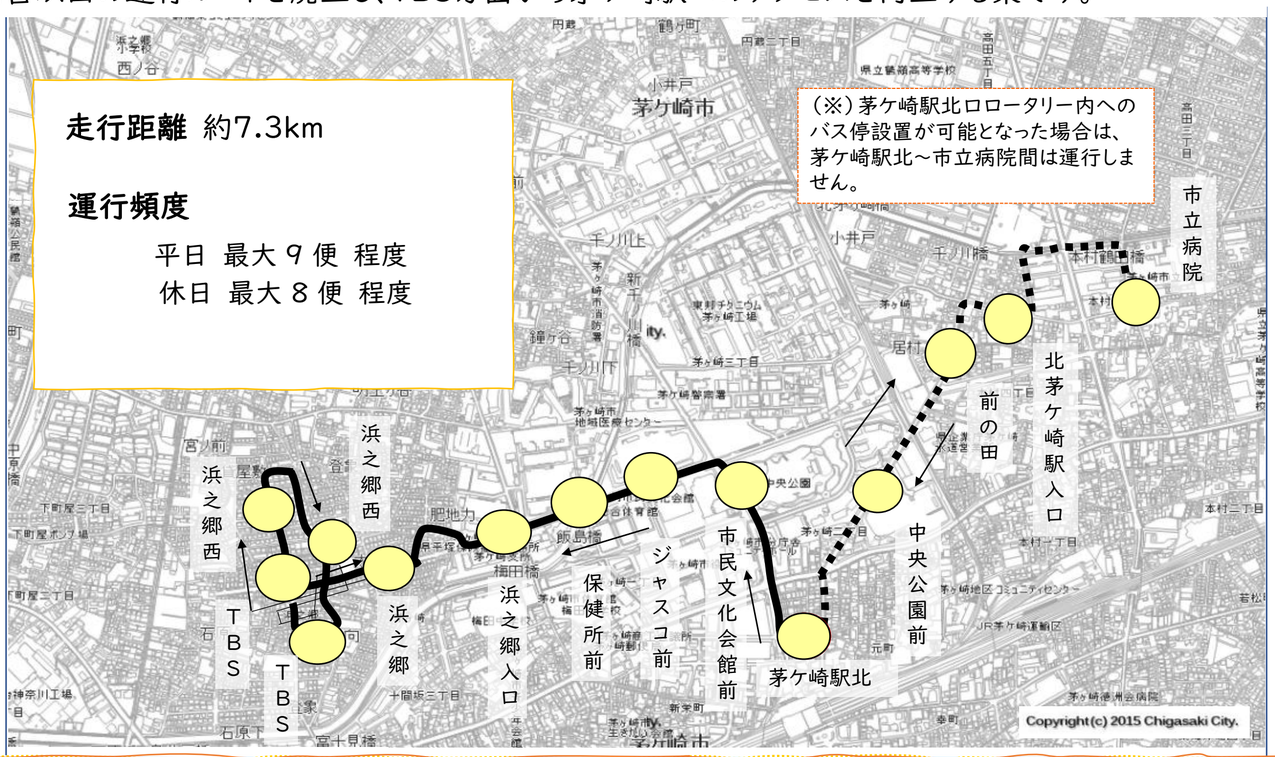
北コースは、路線バスと概ね重複する萩園橋付近の運行ルートを廃止し、円蔵・西久保エリアから茅ケ崎駅へのアクセス性を向上させる案です。
南コースは、路線バスと重複が多い鶴嶺八幡宮以西の運行ルートを廃止し、TBS方面から茅ケ崎駅へのアクセスを向上する案です。



走行距離　約9.4km

運行頻度

平日　最大８便 程度
休日　最大７便 程度



走行距離　約7.3km

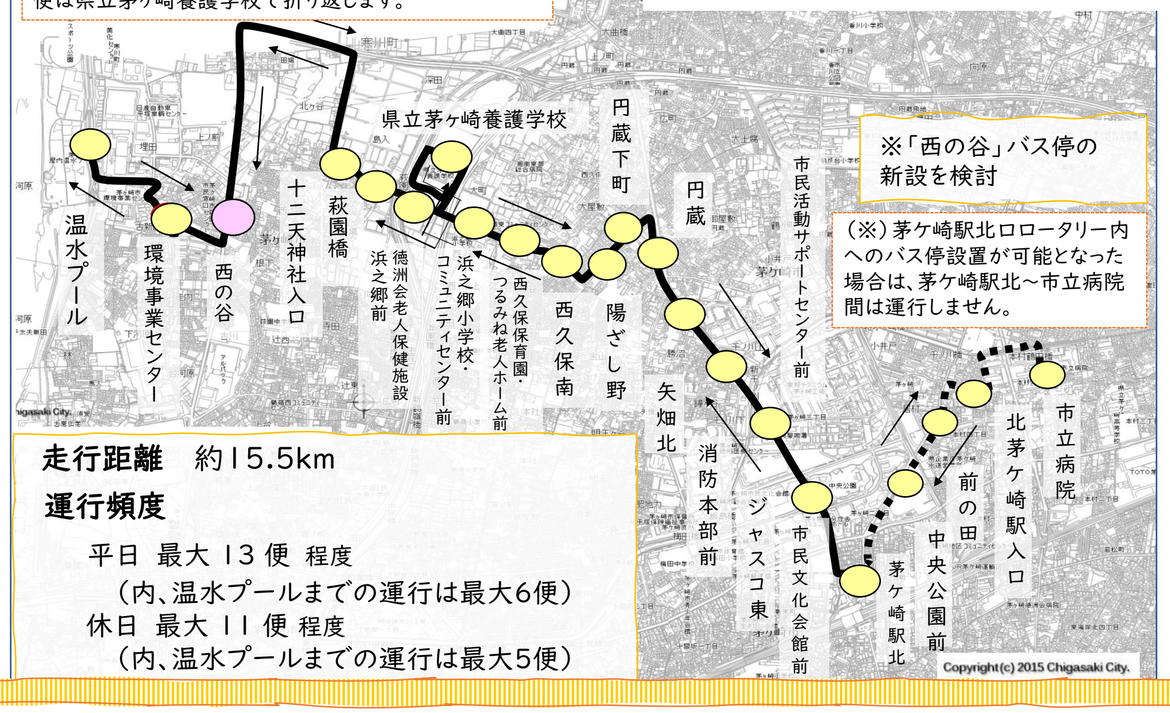
運行頻度

平日　最大９便 程度
休日　最大８便 程度

見直しパターン3

南コースは、路線バスと重複する区間が多いことから廃止し、利用者の比較的多い円蔵・西久保エリアから茅ケ崎駅へのアクセス向上を図るです。
なお、南コースの温水プール及び環境事業センターは比較的利用者が多く、かつ路線バスと重複していないため、北コースを延伸することで、アクセスを維持します。

（※）温水プールまでの運行は2便に1便とし、それ以外の便は県立茅ヶ崎養護学校で折り返します。



走行距離　約15.5km

運行頻度

平日　最大 13 便 程度
（内、温水プールまでの運行は最大6便）
休日　最大 11 便 程度
（内、温水プールまでの運行は最大5便）

【注意点】 － 各パターン共通 －

- 運行距離の短縮による運行頻度の増加が期待されますが、運転士の休憩時間等を確保する必要があるため、必ずしも運行距離の短縮割合に応じた増便が可能となるものではありません。
- 各見直しパターンの運行頻度は、現時点における最大想定値です。実際の運行頻度は、これより少ない場合があります。

鶴嶺循環は、
3つのパターン で
検討してるぞよ！



東部循環市立病院線



【走行距離】

松が丘コース　11.6 km
小和田・松浪コース　13.7 km

【運行頻度】

松が丘コース　平日10便　休日8便

小和田・松浪コース　平日4便　休日3便

【注意点】－ 各パターン共通 －

- 運行距離の短縮による運行頻度の増加が期待されますが、運転士の休憩時間等を確保する必要があるため、必ずしも運行距離の短縮割合に応じた増便が可能となるものではありません。
- 各見直しパターンの運行頻度は、現時点における最大想定値です。実際の運行頻度は、これより少ない場合があります。

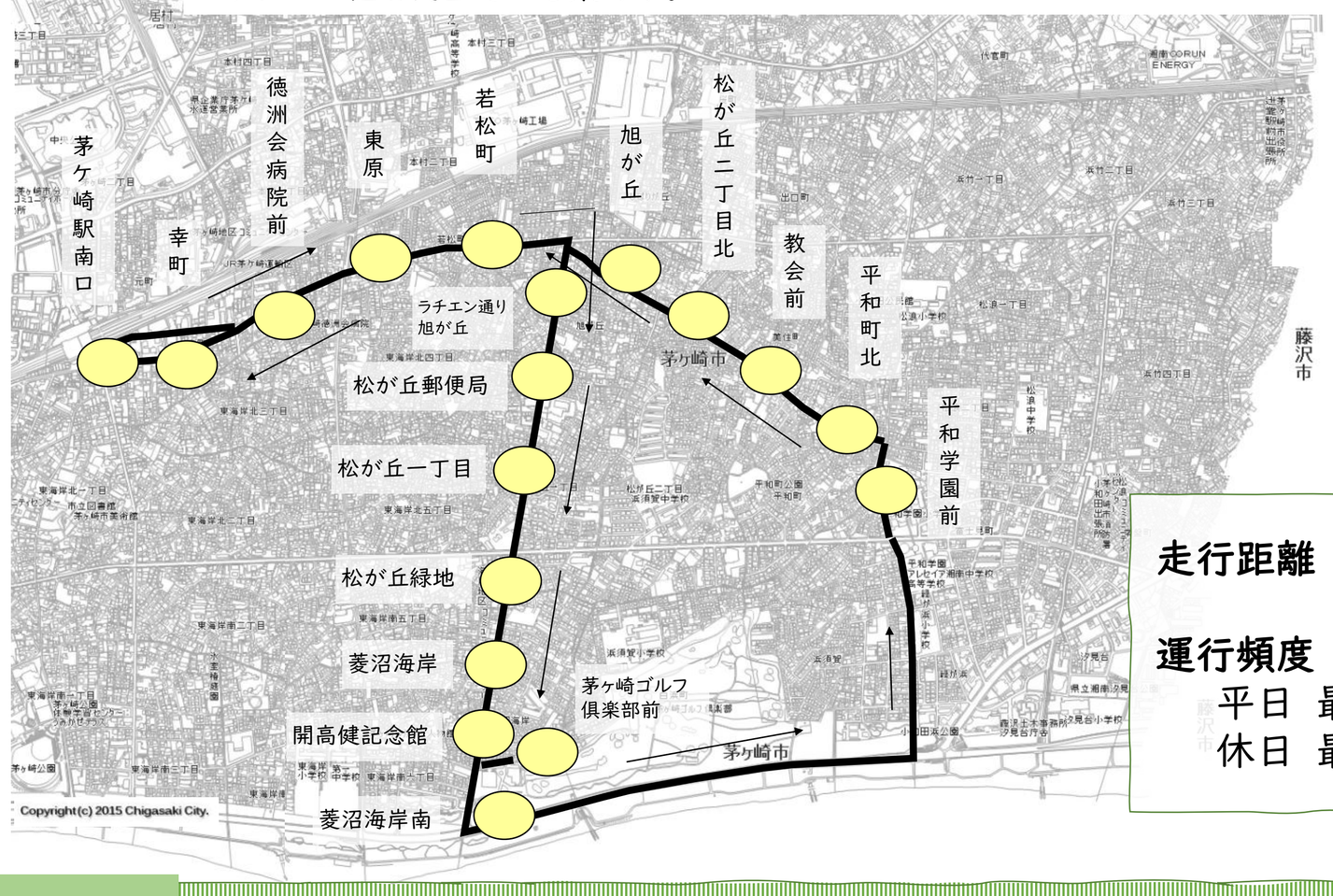


東部循環は、**2つのパターン** で検討してるぞよ！

新ルート案

見直しパターン4

路線バスと重複する松林エリアの運行ルート及び小和田・松浪コースを廃止し、市内南東部から茅ケ崎駅へのアクセス性を向上させる案です。



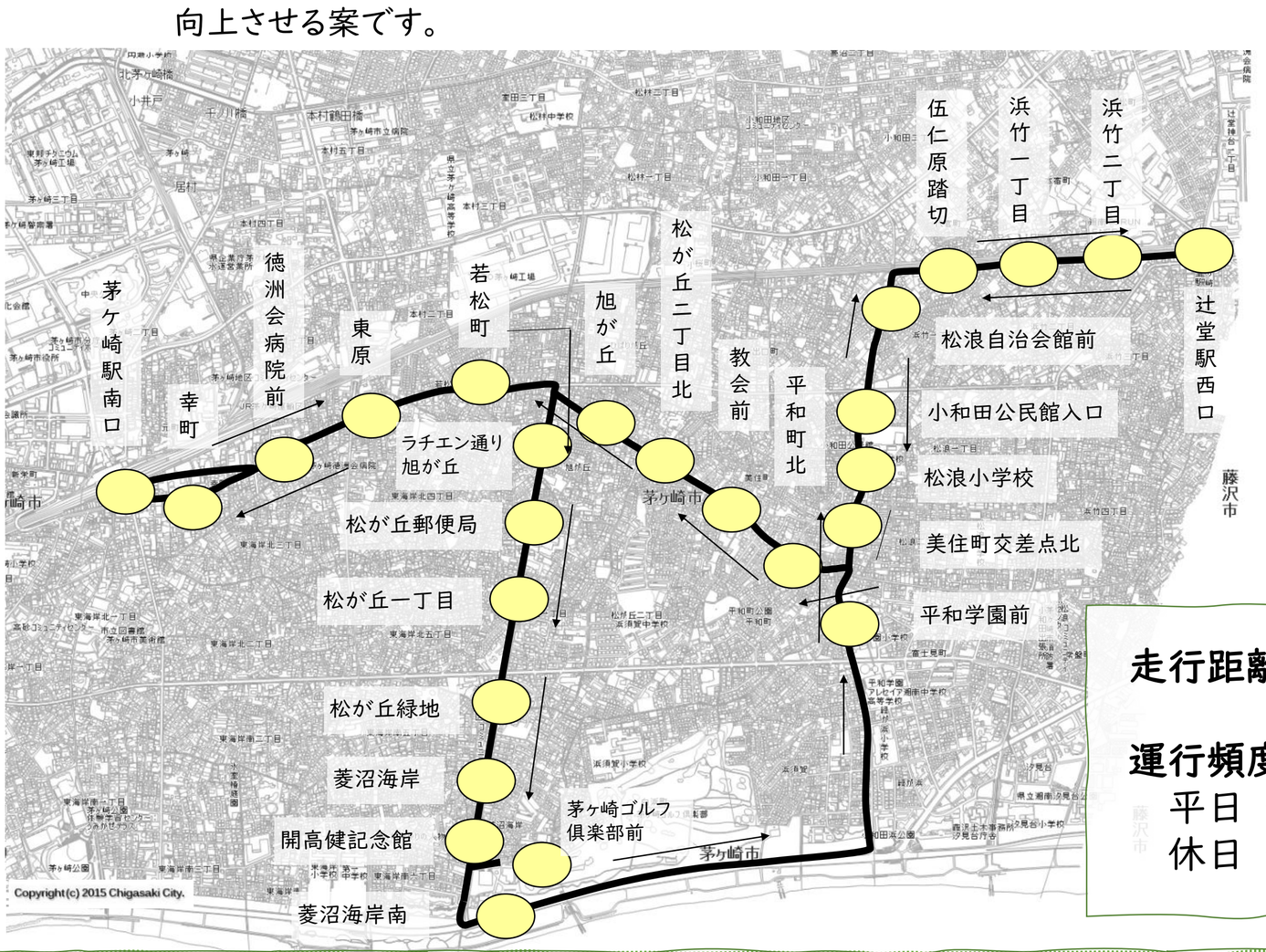
走行距離 約7.8km

運行頻度

平日　最大 15 便 程度
休日　最大 13 便 程度

見直しパターン5

路線バスと重複する松林エリアのルートを廃止し、市内南東部から茅ケ崎駅及び辻堂駅へのアクセス性を向上させる案です。



走行距離 約11.7km

運行頻度

平日　最大 12 便 程度
休日　最大 10 便 程度

北部循環市立病院線

現行ルート



【走行距離】
17.4km

【運行頻度】
平日7便
休日5便

【注意点】－ 各パターン共通 －

- 運行距離の短縮による運行頻度の増加が期待されますが、運転士の休憩時間等を確保する必要があるため、必ずしも運行距離の短縮割合に応じた増便が可能となるものではありません。
- 各見直しパターンの運行頻度は、現時点における最大想定値です。実際の運行頻度は、これより少ない場合があります。

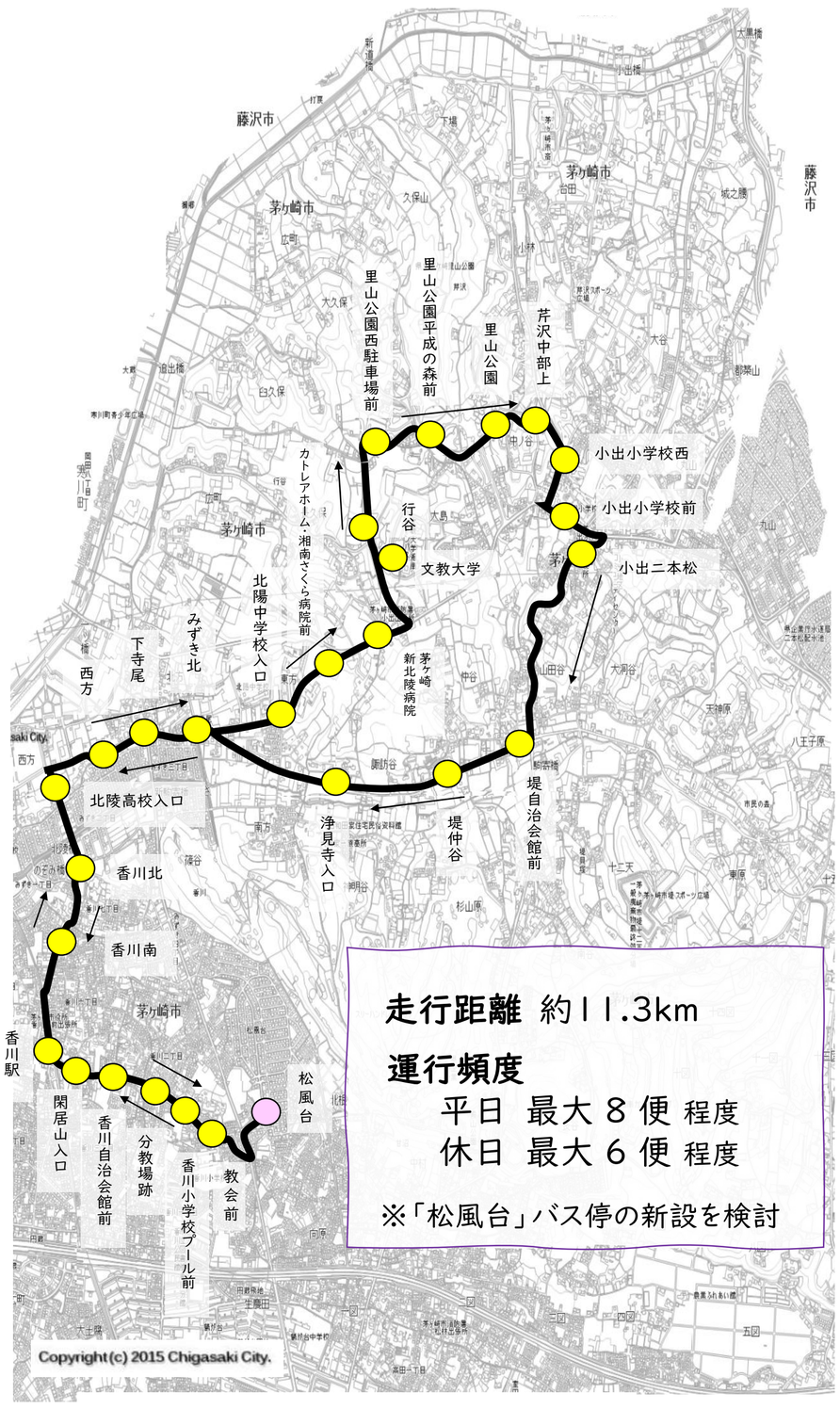


北部循環は、
4つのパターンで
検討してるぞよ！

新ルート案

見直しパターン6

路線バスと重複する松風台～市立病院間を廃止し、路線バスとの乗り継ぎ拠点となる、松風台バス折り返し場を起終点とする案です。



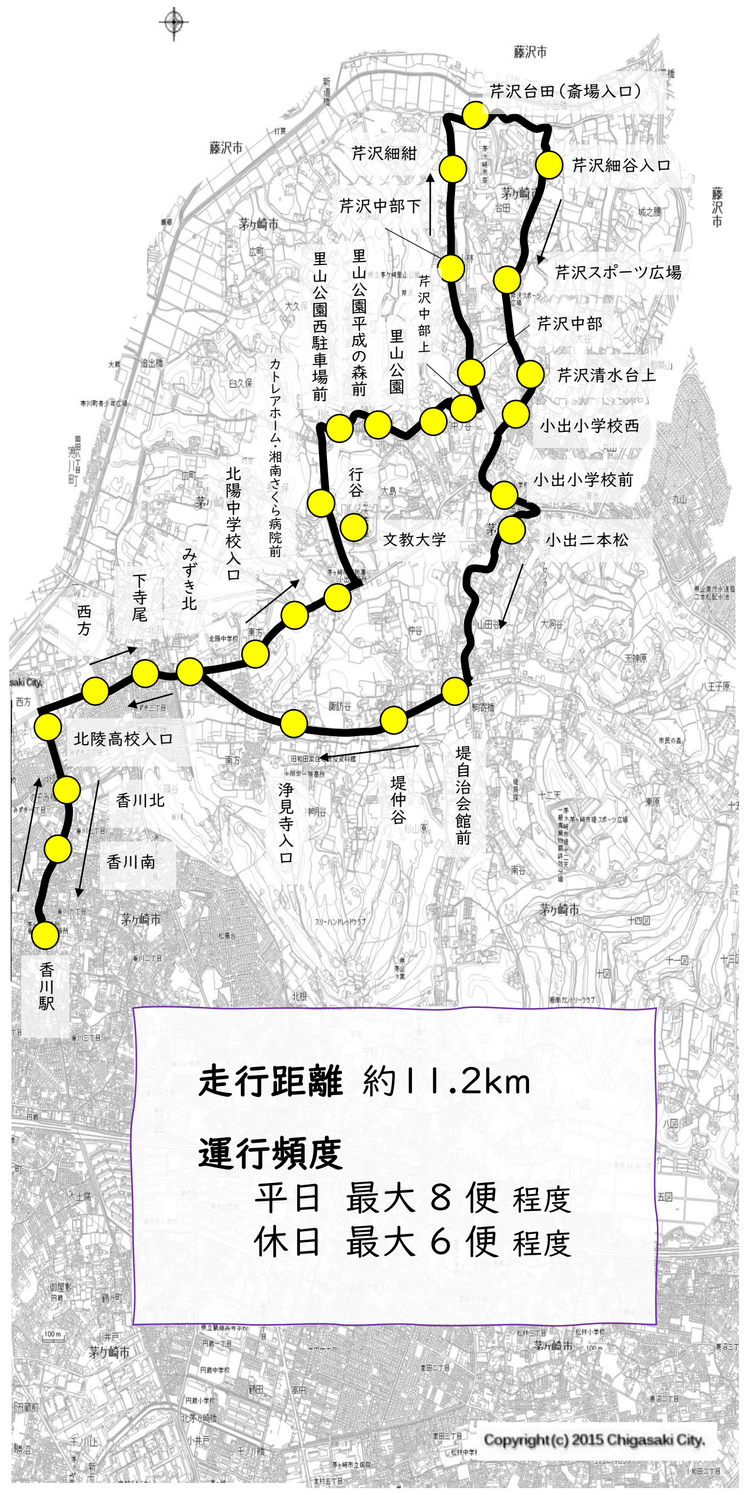
走行距離 約11.3km

運行頻度
平日 最大８便 程度
休日 最大６便 程度

※「松風台」バス停の新設を検討

見直しパターン7

路線バスと重複する松風台～市立病院間を含む香川駅以南の区間を廃止し、香川駅へのアクセスに重点をおいた案です。

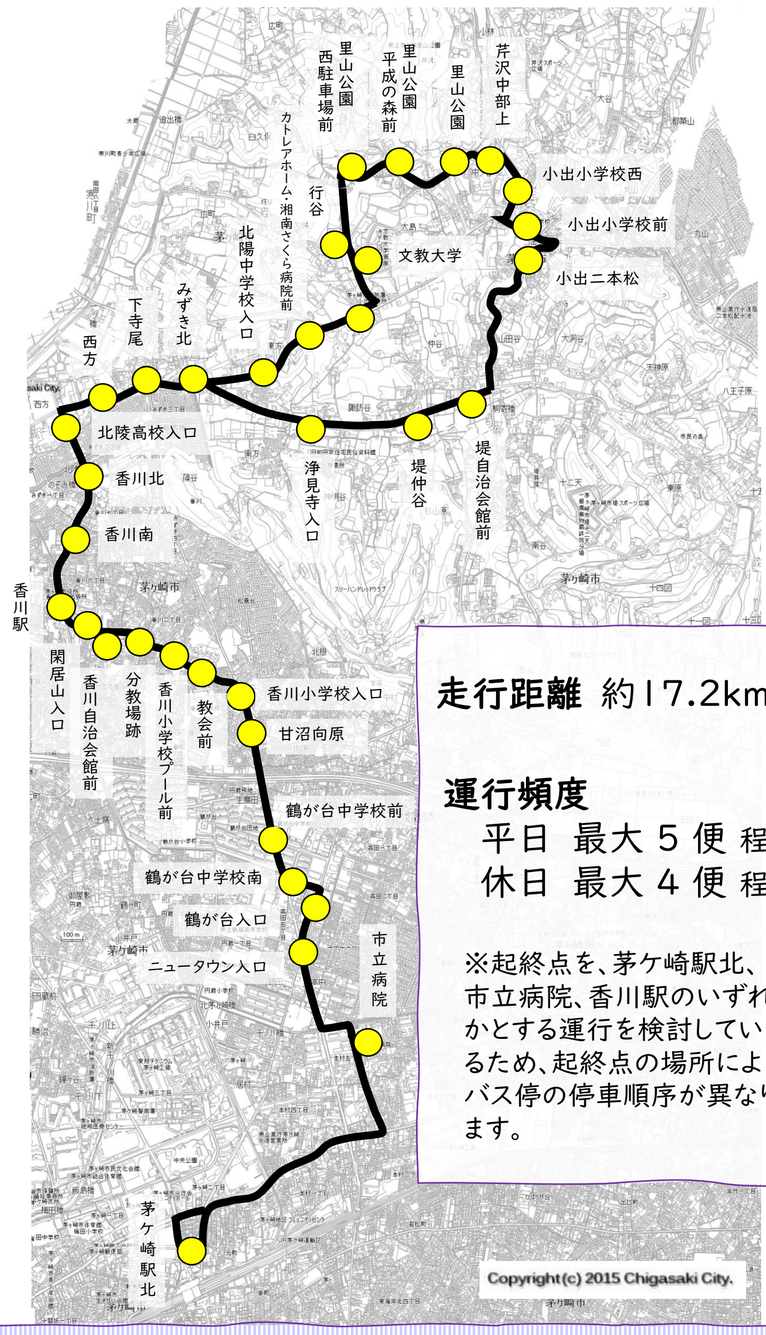


走行距離 約11.2km

運行頻度
平日 最大８便 程度
休日 最大６便 程度

見直しパターン8

茅ケ崎駅北まで運行区間を延伸し、鉄道駅へのアクセス性を向上させる案です。



走行距離 約17.2km

運行頻度
平日 最大５便 程度
休日 最大４便 程度

※起終点を、茅ケ崎駅北、市立病院、香川駅のいずれかとする運行を検討しているため、起終点の場所により、バス停の停車順序が異なります。

見直しパターン9

コミュニティバスを廃止する一方で、予約型乗合バスの車両台数の増加検討や香川駅への乗合所追加を行うことで、移動環境を充実させる案です。

